



認定特定非営利活動法人あしぶえ

第 20 期

令和 6 年度 事業報告書

令和6年(2024)4月1日～令和7年(2025)3月31日

松江市八雲町平原 481-1

認定特定非営利活動法人あしぶえ

総会

第20回通常社員総会	
日時・場所	2024（令和6）年5月19日（日）10：00～11：03 場所：しいの実シアター
審議事項	・2024（令和6）年度 事業報告、決算報告、会費報告の件 ・2025（令和7）年度 事業計画、収支予算報告、役員改選報告の件
交流会	総会終了後、正会員、法人スタッフ14名で昼食をとりながら意見交換した。

理事会

第1回理事会（通算122回）	
日時・場所	2024（令和6）年5月1日（水）15：05～17：45 場所：しいの実シアター
理事数	総理事数6名のうち5名出席、委任状1名
審議事項	・2023（令和5）年度 事業報告、決算報告、会費報告についての協議 ・2024（令和6）年度 事業計画、予算案の協議、役員報酬減額の件

第2回理事会（通算123回）	
日時・場所	2024（令和6）年5月13日（月）15：08～16：44 場所：しいの実シアター
理事数	総理事数6名全員出席 監事1名出席
審議事項	・2023（令和5）年度 事業報告、決算報告、会費報告の件を承認 ・2024（令和6）年度 事業計画、予算案の件を承認

第3回理事会（通算124回）	
日時・場所	・2024（令和6）年12月18日（水）15：03～17：05 場所：しいの実シアター
審議事項	・2024（令和5）年度 決算見込みについて協議 役員報酬について

<令和6年度事業報告> 法人事業 劇団公演事業

令和6年度は、しいの実シアター以外での公演は実施していない。

<令和6年度事業報告>

法人事業

表現・コミュニケーション能力育成事業

近年、子どもたちが幼稚化してきており、担任の先生が仕方なく機嫌を取るなど、必要なことを指導できない状況がある。ワーク講師として学校に出かけても、子どもたちはマイペースで動きが遅く声も小さく、社会人になったときに案じられるような状態が続いている。

一方、養護学校の高等部から「障害の程度は様々ではあるが、子どもたちに表現活動をさせたい」との要望があり、小品「おむすびころりん」を上演し障害の状況に合わせてワークを行ったところ、驚くほど集中して表現しようと試みたことに、先生方が大変感動されたという授業もあった。

小・中・大学		実施月日	対 象	受講者数
次世代育成	松江市立八雲小学校 松江市立義務教育学校八束学園 飯南町立頓原中学校 益田市立益田東中学校1年 島根県立清心養護学校	R6年6月～1月	小学生、中学生 養護学校高校部	723名
芸術家派遣	松江市立美保関中学校全校生 松江市立来待小学校	R6年6. 7月	小学生、中学生	200名
大学企画	島根県立大学4年制学部 教育保育学科 1年生	R6/4/22	新入生	36名

合計 198 名

企業、地域、PTA、その他		実施月日	対 象	受講者数
職員研修	㈱さんびる 新人職員ワーク (演劇祭お礼ワーク)	R6/9/20	入社1.2.3年目 職員研修	14名
	㈱さんびる 職員専門研修ワーク ㈱SKKS	R7/1/26	スポーツ系の専門職 研修	28名
	保育士スキルアップ研修(東部)	R6/11/20	東部保育士(公.私)	46名
	保育士スキルアップ研修(西部)	R6/9/6	西部保育士(公.私)	6名
	㈱ 日新ホールディングス 役職者ワーク (演劇祭お礼ワーク)	R6/11/25	来年度新人ワーク前 に役職体験ワーク	14名
	公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館	R6/5/15	わらべ館職員	19名
幼児 中 学 生	八雲・東出雲 地域リーダー合同研修会	R6/1/21	東出雲と八雲中学生	35名
	どんぐり館ファミリーサークル	R6/5/18	小学生 土曜事業	14名
	どんぐり館 星キラMama(桑下集会所)	R6/10/2	在宅母子と高齢者	22名

合計 959 名

今年度総合計 1,157 名 事業費 410,490 円

本事業を正式に開始した平成 12 (2000) 年から通算すると述べ 49,937 人となる。

＜令和6年度事業報告＞ 松江市八雲林間劇場の指定管理事業

令和6年度は松江市の指定管理更新に当たり、初めて人件費が計上された。
合併から今日まで、施設管理費と事業費のみで運営し、人件費という名目のないまま各種事業を進めざるを得なかったが、ようやく文化施設らしい形となった。

成果1 各種助成金を獲得して事業の内容充実に努めた！

劇団あしぶえ公演 「セロ弾きのゴーシュ」	諸物価高騰に悩む家庭に対して、大人が子ども同伴の場合、大人が半額で子どもを無料とする助成金を獲得した。
しいの実シアター 未来学校	「劇で遊ぼう」だけではなく、子どもたちの希望であった「劇を創ろう」も充実させるため助成金を獲得した。
イギリス 人形劇 「ヤナと雪男」	諸物価高騰で渡航費などが高額となったため、4つの助成金を獲得して対応した。

成果2 市内幼保園から人形劇の申込みが殺到！

人形劇団むすび座「どんどこももんちゃん」「カミナリカレー」の観劇募集を開始すると市内12幼保園と高齢者施設・公民館から観劇申込みが殺到。合計291名の幼児と付添保育士・高齢者を2回公演で受け入れた。本事業は年々広がっており、観劇希望幼保園が増え続けている。

課題1 人形劇公演を2回から3回に増やして、バス代の補助を！

上記人形劇公演については、今後2回公演ではなく3回公演に増やしたい。
幼保園の場合、一般客の受け入れとは異なって、天候、バスの移動、劇場内でのトイレ対応、幼児の人数確認、帽子・上着・水筒・弁当の保管など、事故がないように特別な配慮を必要とするため、満席にすると子ども一人ひとりに目が行き届かなくなるからだ。

また、各幼保園は、幼児の移動バス費用の捻出に悩んでいる。各園がマイクロバスや小型バス、ジャンボタクシー、職員の自家用車等を工面して来場しているが、バス代を工面できない園は観劇させたくてもできないという事情がある。この課題を解決したい。

課題2 初めて獲得した人件費には1割の消費税が掛ることが判った！

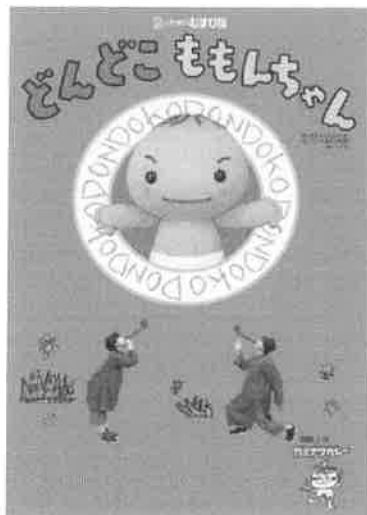
令和6年度のしいの実シアター指定管理更新時から、初めて人件費として10132千円が計上されスタッフ一同喜んでいたが、松江市からの委託費については10%の消費税が課されることが判り、人件費としてスタッフ6名に割り当てることができるのは1千万少々になった。

事業報告

事業名	国内秀作公演 「セロ弾きのゴーシュ」 (65分)
趣旨目的	林間劇場の宝である「セロ弾きのゴーシュ」をより多くの市民に提供する。
事業概要	【出演】劇団あしぶえ 【対象】6歳以上 【日程】一般公演：令和6年6月9日（日） 2ステージ 児童・生徒団体公演：6月10日（月）2ステージ 【料金】大人：3,000円 18歳以下1,000円 グループ割引：1人2,500円 特別料金：18歳以下の子ども同伴の大人1,500円、18歳以下の子ども無料
助 成	① 文化庁参事官（芸術文化担当）「令和6年度文化芸術による子供育成推進事業」 ② 「令和6年度劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」
入場者数	一般公演 218人、忌部小・八雲小中生 218人 合計 440人 ゲネプロ 81人
事業費	3158千円
事業成果	平成元年初演から数えて通算213回～216回目。特に、213回目のステージは過去最高に秀逸で地元は勿論、国内各地からの観客も含めて賞賛の声が上がった。



事業名	幼児対象舞台公演「どんどこももんちゃん」「カミナリカレー」
趣旨目的	子どもたちの感性を育てるため、平成13年度から継続。 市内の近隣幼保園は毎年楽しみにし、募集すればすぐに満席になる事業。
事業概要	【出演】人形劇団むすび座 【日程】令和6年6月13日（木）14日（金） 【回数】1日1ステージ×2日＝2ステージ 【料金】500円 【対象】幼児、高齢者
助成	無し
入場者数	・6月13日 123人 引率17人 合計140人 ・6月14日 133人 引率18人 合計151人 合計 291人
事業費	373千円
事業成果	黒田町、玉湯町、学園などの遠距離はもとより、近辺の大庭、東出雲、八雲からも来場し、合計12園の幼児が観劇し、大満足だった。 課題としては、大小のバス4台、ジャンボタクシー3台、乗用車等が集中して来場したため、バスの安全回転等に注意を要した。 合計291名の幼児と付添保育士・高齢者を2ステージで受け入れたが、2公演では無理であると感じた。



事業名	未来学校事業 しいの実シアター未来学校
趣旨目的	大人の指示・干渉のない中、初めて出会った子どもたちが折り合いを付けながら、作品選びから衣装づくりまで行って発表まで行うことで自主性と創造性を養う。
事業概要	【日程】1回目 劇で遊ぼう 令和6年7月25日（木）～27日（土） 3日間 2回目 劇を創ろう 令和6年8月1日（木）～4日（日） 4日間 【対象】小学生、中学生 【募集】1回目：20人、2回目：10人 【料金】1回目：5,000円 2回目：8,000円（材料費、昼食代、保険料込） 【講師】田中小百合（NPO法人明るい生活理事長、ワークショップ講師） 市岡 洋（演出家・俳優・舞台美術家）
助 成	「2024年度日本郵便年賀寄付金助成金」
参加者数	1回目 劇で遊ぼう 27名 2回目 劇を創ろう 24名
事業費	1,188千円
事業成果	「劇で遊ぼう」は好評で、子ども親もスタッフも共に満足のいく事業となった。 初めて実施した「劇を創ろう」は、「遊ぼう」を体験した子どもは満足していたが、本事業に始めて参加した子どもには戸惑いが見られた。来年度は、より分かりやすい募集内容に務めたい。



事業名	海外秀作公演 「ヤナと雪男」 (60分)
趣旨目的	令和5年度招聘し、小学生から高齢者まで高い満足度を記録した。 難民の少女が一人異国に行かされ、逞しく暮らしていく姿には、同時代性がある。
事業概要	【上演】ピクルド・イメージ (イギリス) 【日程】令和6年10月10日 (木) ~11日 (金) 4ステージ 学校団体観劇公演 13日 (日) ~14日 (月・祝) 4ステージ 一般公演 【言語】創造言語ジバリッシュ【料金】大人3,000円 18歳以下 1,000円 【対象】6歳以上
入場者数	大人314人 18歳以下351人 合計665人
事業費	8,912千円
事業成果	独りぼっちな難民少女が異国で暮らす辛さを表現した同時代性と、優れた人形操作、ジブリッシュ (誰も理解できない造語セリフ) による表現の見事さは国内に無いものである。市教育委員会との良好な連携により、遠距離の美保関小、島根小、近距離の忌部小、八雲小が来場。松江ろう学校の中学生にも広報して実った。観劇対象年齢を6歳以上としているが、小学校中学年から中学生を対象としたほうが良いということが、教育委員会でもようやく認識されてきた。



貸館事業

6年度の貸館は、12件、201人の利用があった。

諸物価高騰の折、7年度から、劇場利用料が30%アップとなり利用減少の不安感がぬぐえない。

＜令和6年度事業報告＞ **かやぶき交流館の指定管理事業**

令和6年度の指定管理業務

全館利用のイベント貸館は少なかったが、少人数グループ、定期的に利用される個人の貸館数が大幅に増加し、年間貸館数が125件で前年比37%増となった。しかし利用者数は、今年度より集計方法が変更になり昨年度と比較すると大幅減となった。チラシ配付の効果もあり、新しく利用したいという人も複数あり、いろいろな利用法をPRした。

＜施設利用（使用）者数＞

利用件数 125件 利用者数 1066人

○自主事業 ・物販活動 59人

＜課題＞

かやぶき屋根の疲弊状況

茅葺屋根が全面苔生しており、四季を通して雨、風により落下する量が大幅に増加。前庭、東庭の白砂の掃除が大変である。冬の積雪時は、落雪と共に苔と茅が大量にちぎれ落下する。（特に北側屋根）一回の落下で茅が5～10cm短くなり屋根の厚みが減少している。

11月に玄関土間の上部屋根、棟付近より雨漏りが発生した。天井がない場所だったので発見が早かったが、天井がある場所では早急の発見が困難で和室の天井、畳等の被害が心配である。緊急の雨漏り箇所の点検、養生の対策が必要。

4月からの貸館料値上げについて

4月1日より貸館料が30%値上げになったため、全館利用のイベント貸館の減少が心配である。理由は、7年度4月、5月に予定されていた全館、全日利用の貸館が予算の都合でキャンセルになったからだ。貸館料の引き下げは出来ないので利用者と準備時間、イベント開催時間、部屋数等の相談に乗って工夫を図る必要がある。

【課題】

令和6年度より演劇祭前年度の予算が500万から250万に減額された。

これにより、演劇祭準備内容が大幅に限定された状態で出演劇団を選ばざるを得なかった。

沖縄りっかりっかフェスタ ～26日（金） 7月25日（木）～26日（金）那覇市各会場
海外作品の新作を招聘するため7月25日（木）～26日（金）沖縄りっかりっかフェスタで観劇・交渉を行った。この演劇祭は、下山久氏がプロデューサーを務める子ども対象の演劇祭で、国内最大といわれている。2日間で8本の国際作品を観劇したが、招へいしたい作品は皆無だった。理由は明確ではないが、国内で開催されるフェスティバル予算の減額と、フェスティバルに対する助成金額の減額により、作品の優劣ではなく予算内での招聘となったようだ。そのため、同フェスタが過去に上演した秀作で韓国劇団アートステージ・サンの「ダルレの物語」の紹介を受け、招聘することにして交渉を進めたが、上演期日が折り合わず断念した。
国内外の劇団への出演交渉
イギリス・ピクルドイメージ「ヤナと雪男」 福島県白河市のコミネス、安来市のアルテピア、香川県のとらまる座の国内3劇場と連携して、イギリス「ヤナと雪男」を招聘する。これによって、単独で招聘するよりは費用が抑えられ、他劇場連携の経験を高めることになった。また、初めて、「地域創造」の助成金である連携プログラムに申請した。 そのほかの上演劇団が決定した。 フランスの「GO!」イタリアの「幸せなおじいとおばあ」ほか、国内カンパニーのガベジ、むすび座、燕屋、びりとブッチー、3ガガヘッズ等と出演交渉を行って決定した。
前回10万円以上寄付者への返礼ワークの実施
前回演劇祭寄付者の（株）日新の依頼で、11月25日（月）社員研修として18名の社員の方にコミュニケーションワークショップを実施した。